

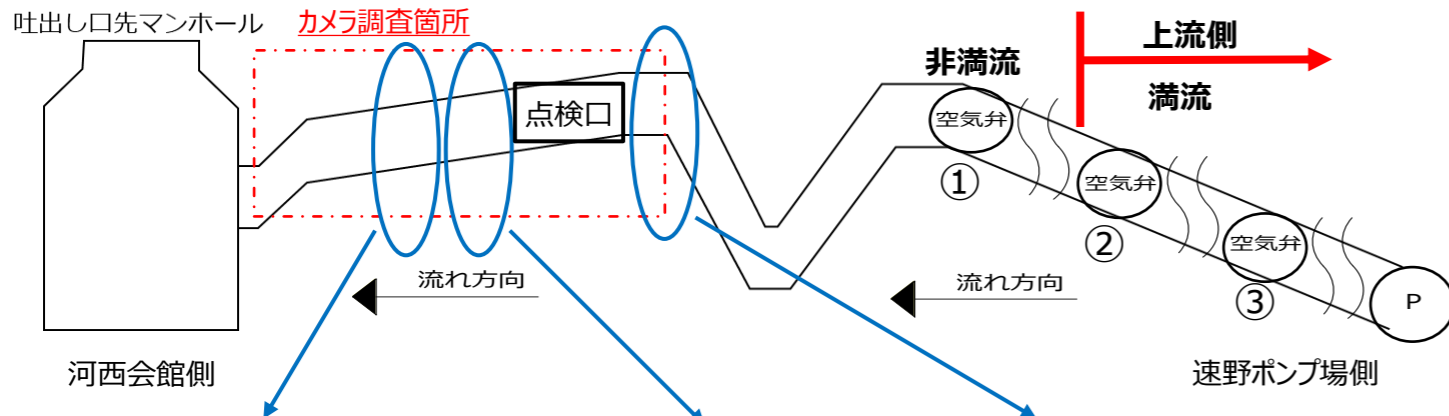
(2) 再発防止策 A 予防保全 緊急性の高い取り組み

① 破損箇所付近の圧送管内カメラ調査等目視による点検の実施と修繕の実施

本管カメラ調査および空気弁カメラ・満流調査報告

修繕箇所の特定に向け、本管カメラ調査および空気弁カメラ・満流調査を実施しました。

1. 概要図

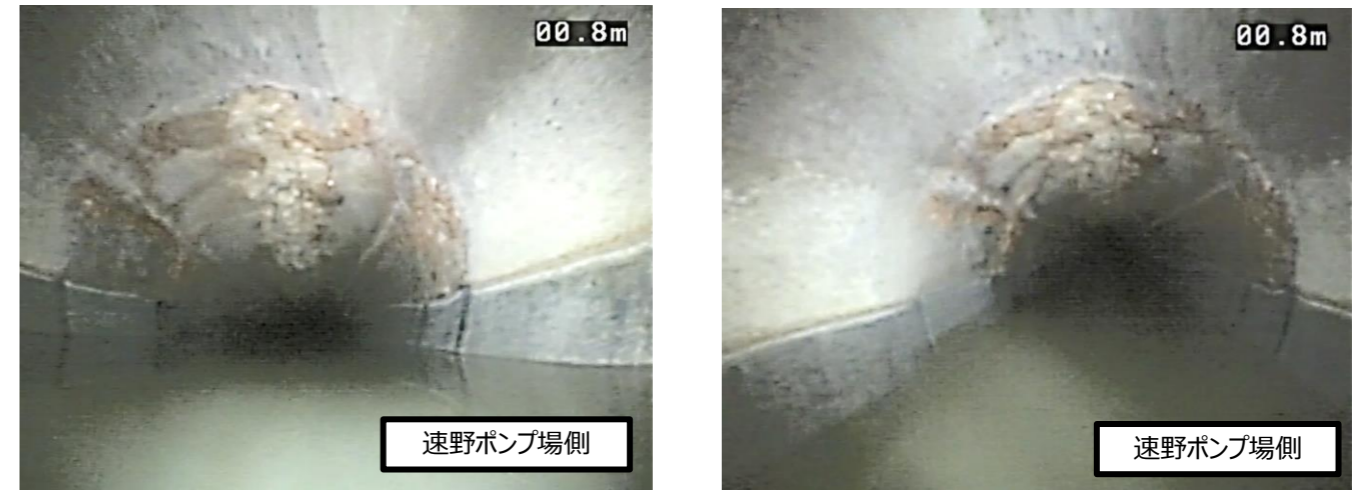


2. 本管カメラ調査

事故地点付近に点検口を設置し、危険箇所と推定された管渠のカメラ調査を実施し、調査の結果、早急な対応が必要であることを確認しました。（左下写真参照）

3. 空気弁①カメラ調査（非満流箇所）

速野ポンプ場のポンプ稼働させた状態で空気弁から下水が出るか確認したが、下水が出なかったため、空気弁からのカメラ調査により、管渠内の状況を確認。



4. 空気弁②および③満流確認

速野ポンプ場のポンプ稼働させた状態で空気弁から下水が出てくることを確認。

